

にしくまち歩きマップ

- | | |
|----------|--------------|
| 0 寺社 | 坂道 |
| 0 碑・文化財 | 橋 |
| 0 公園 | 旧東海道 |
| 0 施設・建物 | 保土ヶ谷道 |
| 0 銭湯 | 横浜道 |
| 0 交通・警察署 | 水道道 |
| | 温故知新のみち |
| | 温故知新のみち案内サイン |
- 200m

温故知新のみち
各エリアでテーマを設け、歴史ある西区の魅力を再発見できる散策ルートを作りました。下図のような昔のまちの様子を写真等で紹介する案内サインをめぐりながら、まち歩きを楽しめます。

にしのがみち

西区は坂のまち。個性的な名前の坂道とその由来をご紹介します。

1 つながりの坂道 MAP-E-1
浅間台3-237付近
浅間台地域の人たちの協力により完成した浅間台小学校へ続く坂道。名前は生徒による公募で決定。

2 くらやみ坂 MAP-D-2
伊勢町3-133付近
名前の由来は諸説あり、暗闇坂、蔵止坂、駁止坂などと言われています。

3 願成寺坂 MAP-E-2
西戸部町3-290付近
ふもとにある願成寺がその名の由来。静かな住宅街から商店街へのんびり歩くのにぴったり。

4 紅葉坂 MAP-E-3
紅葉ヶ丘5付近
かつてこのあたりに紅葉が多かったことから名が付けられました。

5 尻こすり坂 MAP-E-3
西戸部町1-48付近
あまりの急な勾配に、車をひく人たちがお尻をおさながら下ったという説から名前が付けられました。

6 天神坂 MAP-F-3
東久保町7付近
吉田新田の埋め立て用の土取場だった天神山。高さ45メートルほどの山に続く石段の道。

7 百段坂 MAP-F-3
鎌ヶ丘15付近
戦前からある坂道。実際には113段。野毛山公園への近道です。

8 植勘坂 MAP-F-2
鎌ヶ丘59付近
坂の中ほどにある老舗の植木屋さんのご先祖の名を冠した坂。

9 七曲坂 MAP-E-1
東久保町24付近
細い石段の坂道。「七曲」は曲がり角がたくさんあるという意味。実際の曲がり角は全部で4つ。

にしのはし

橋を知って、まち歩きをもっと楽しく♪

A すいどうし 水道橋 MAP-D-1
明治20(1887)年の近代水道誕生にちなんだ橋。親柱はガス灯のイメージ、欄干を支える柱は、獅子の顔が描かれた当時の水道栓を彷彿とさせています。

B ひらぬまばし 平沼橋 MAP-C-2
橋の名前は、平沼新田開発の功労者、平沼九兵衛に由来しています。橋の上は車、下は電車が走り交錯。橋上からは横浜駅の賑わいを垣間見ることが出来ます。

C もとひらぬまばし 元平沼橋 MAP-C-2
安政6(1859)年の横浜開港時、開港場と東海道を結ぶ「横浜道」が建設された際、造られた橋のひとつ。当時は「平沼橋」と称され、橋の姿は浮世絵にも描かれています。

D あらたまばし 新田間橋 MAP-B-2
「横浜道」が造られた時に架けられた橋。当時、芝生新田(今の浅間町)と岡野新田(今の岡野町)の間を結ぶ橋であったため「新田間(あらたま)橋」と名付けられました。

E さいわいはし 幸川橋 MAP-B-3
横浜ビレ前の広いスペース。実はここが橋の上で、下には幸川が流れています。広い橋の上には、モザイク画が。

F しきしまし 敷島橋 MAP-C-3
「敷島」の由来は、本居宣長(もとおりのりなが)の桜にちなんだ有名な和歌の冒頭句。かつてこの川と繋がった高島町方面へ流れた桜の名所「桜川」にちなんだものです。春には橋が架かる石崎川沿いを桜が彩ります。

G にしつやばし 西鶴屋橋 MAP-A-3
「かながわの橋100選」に選ばれている橋。「林」をイメージしたデザインで、それぞれ6本の照明灯が木立ちを感じさせるように立っています。

H みなとみらい大橋 MAP-B-3
みなとみらい21地区の玄関口に架かる橋。下は海上交通船「シーバス」のコースにもなっています。橋の名前は平成8(1996)年に公募され、西区民が名付け親となりました。

「にしにしまちゃんねる」でまち歩き動画を楽しもう
温故知新のみちの下見がしたい! 又は、はバーチャルで楽しみたい! そんな声にお応えするため、まち歩き動画を配信中です。

「飛び石サイン」がまち歩きをサポート
温故知新のみちの迷いや、ポイントには、飛び石サインが設置されています。探しながら、まち歩きを楽しみましょう!

開港後、横浜の生活を支えた住宅地の歴史をたどります。
開港後、横浜の生活を支えた住宅地の歴史をたどります。

江戸時代の新田開発から横浜駅周辺の歴史をたどります。
江戸時代の新田開発から横浜駅周辺の歴史をたどります。

明治20年にイギリス人技師パーマーによって現在の相模原市から野毛山浄水場まで導水管を埋設。鉄管を通して送水する方式の近代水道が初めて横浜に完成しました。現在も西谷浄水場から野毛山配水池に送られる水はこの道の下の送水管を通っています。
明治20年にイギリス人技師パーマーによって現在の相模原市から野毛山浄水場まで導水管を埋設。鉄管を通して送水する方式の近代水道が初めて横浜に完成しました。現在も西谷浄水場から野毛山配水池に送られる水はこの道の下の送水管を通っています。

旧東海道
神奈川宿から海に沿って保土ヶ谷へ通じていた西区エリアの旧東海道。辺りは袖ヶ浦(そでがうら)と呼ばれた入江で大変景色のよいところでした。江戸時代、街道沿いの宿と宿の間には人や馬の休憩場所となる立場(たてば)があり、現在の浅間町付近は芝生村(しばむら)とってこの立場として栄えたところでした。

目指せ日本橋! 西区の5区共通プレートはここだけ
江戸(日本橋)から京(三条大橋)を結ぶ旧東海道。日本橋から32km地点に旧東海道をあしらった距離表示プレートを設置しています。昔の旅人に思いを馳せながら、プレートを探しながら旅に出かけてみては?

横浜道
旧東海道から関内まで通じる道路。江戸時代、帷子川の河口は土砂が堆積し、年々浅くなってきたため、18世紀に埋め立てと新田開発が行われます。そして、横浜開港に合せて当時の海岸線に「横浜道」が設けられました。

新旧東海道の温故知新のみち
横浜道を歩く時は平沼橋を渡ってね。

1 新旧市街地の温故知新のみち
開港後、港湾都市として栄えた横浜の痕跡をたどります。

2 新旧東海道の温故知新のみち
江戸時代の新田開発から横浜駅周辺の歴史をたどります。

3 暮らしの温故知新のみち
開港後、横浜の生活を支えた住宅地の歴史をたどります。

「横浜市認定歴史的建造物」の認定を受け「かながわの橋100選」にも選ばれています。昔はこの道を市電が走っていました。
「横浜市認定歴史的建造物」の認定を受け「かながわの橋100選」にも選ばれています。昔はこの道を市電が走っていました。